

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	町内会に加入している。昨年度より地域の保育園と交流を持てるように働きかけ、園児たちの歌や踊りに入居者の表情が豊かになった。ホームのミニ運動会には地域の方が車椅子リレーに参加し、身体の不自由を体感してもらうことができた。神社の掃除等には、これから積極的に参加をしていくことを検討している。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	3カ月に1回運営推進会議を行っている。参加メンバーは家族、町内会区長、班長、職員出席で開催されているが、市職員には運営推進会議が日曜日開催のため参加のお願いを遠慮していた。次回からは、2カ月に1回運営推進会議を行うことを報告すると同時に、会議への参加のお願いに出向く予定である。	×
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	市には書類の申請等に出向いたり、糖尿病でインスリン使用の入居者の相談に行ったりしている。地域包括支援センターより入居依頼があり、入居になった事例もある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	玄関に意見箱が設置してある。運営推進会議を兼ねて家族会を行い、家族が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。家族の訪問時には、気軽に職員が声かけをすることで、入居者の希望、要望を家族から口頭で伝えてもらい、希望に添えるように心がけている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近隣は自然豊かな土地で駐車場をカルガモが散歩していたり、雉や鶯の鳴き声が聞こえる。個別ケアを取り入れることで車椅子の方が職員の付き添いで歩く練習を実施している。自分の足で歩いて家に帰りたいという思いがリハビリにつながっている。月に1回お酒を飲みに行けるといふ楽しみへの支援があったり、入居者の思いを叶えてあげたいという気持ちが寄り添うケアに活かされている。食べることが健康につながることを職員は理解しており、美味しく食べてもらうことに手間を惜しまない。管理者は「介護に対する知識不足な点はあると思うが介護に対する思いは誰にも負けない」と自負している。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。